

▶ 事業内容

- ・地域医療構想の推進にあたって、和歌山県内の各地域における様々な医療需要の現状把握と将来推計を行う
- ・事業の実施にあたっては、厚生労働省補助事業を活用
(補助事業はR 6 年度単年)

▶ 事業体制

分析項目検討チーム



地域医療構想
アドバイザー

病院関係者

保健所長会会長

データ分析チーム



京都大学

- ・レセプト関連データを用いた分析
- ・医師等医療従事者に関する分析



和歌山県立
医科大学

- ・救急搬送データを用いた分析



和歌山県庁

分析目標

2040年にむけて持続可能な和歌山県の医療の姿を明らかにする

県民一人一人が、医療や介護を必要とする状態になっても、できる限り住み慣れた地域で安心して生活を継続し、その地域で人生の最期を迎えることができる環境が整っていること

▶ 目指す姿

●二次医療圏内で急性期の一部・回復期・慢性期・在宅医療・外来医療が完結できる

→県民に医療が必要となった際、本人・家族が現在の生活を維持しながら、医療サービスを享受できる

→自宅あるいは介護施設における看取りが、住み慣れた地域で完遂すること

※高度急性期・急性期について、和歌山県内で完結できる

→急性期、特に高度急性期医療の際、病病・病診連携により、適切な時期に住み慣れた地域（二次医療圏内）へサービスを円滑に移行させる仕組みがある

▶ 主な課題

●医療の需要と供給にギャップが生じる

→人口構造の変化に伴う医療需要の変化に対応する必要がある

●医療・介護スタッフ（供給）の減少

→少ない供給で、多くの需要に対応する方法を見つけ出す必要がある

二次医療圏ごとの地区診断を実施

▶ 地区診断の項目（例）

| 2040年の目指す姿 | 現状・推計 |
|---------------------------------|---------------------------------------|
| ● 医療圏内で入院が完結している | 医療圏内の疾病別入院完結率（上位5疾患） |
| ● 医療圏内で高齢者の主な入院原因疾患による入院が完結している | 高齢者の入院の原因疾患 上記原因疾患（上位5疾患）の圏域内入院完結率 |
| ● 一次救急が夜間休日診療所・病院で機能している | 夜間休日診療所・病院別の受入患者数 |
| ● 二次救急が医療圏内で完結している | 疾患別・重症度別救急搬送者数 圏域内で受入可能疾患・不可能疾患 |
| ● 地域医療で賄えない部分は広域医療でカバーできている | 疾患別外来・入院先（圏域内・外、県外） |
| ● 必要な診療科目の診療所が維持できる | 疾病別外来患者数 診療科別診療所数・医師数 |
| ● 医療・介護スタッフが確保できる | 病院・診療所別の医療スタッフ数 居宅系・入所系別の介護スタッフ数 |
| ● 在宅医療が充足している | 在宅診療患者数 在宅診療実施診療所数・医師数 |
| ● 介護サービスが充足している | 居宅系、入所系介護サービス提供量と利用率 |
| ● 介護施設・在宅で看取りができる | 病院・介護施設・在宅別の死亡者数 看取りを実施する診療所と看取り数 |

※診断項目については、分析の状況等に応じて変更や追加を実施

▶ 活用データ例

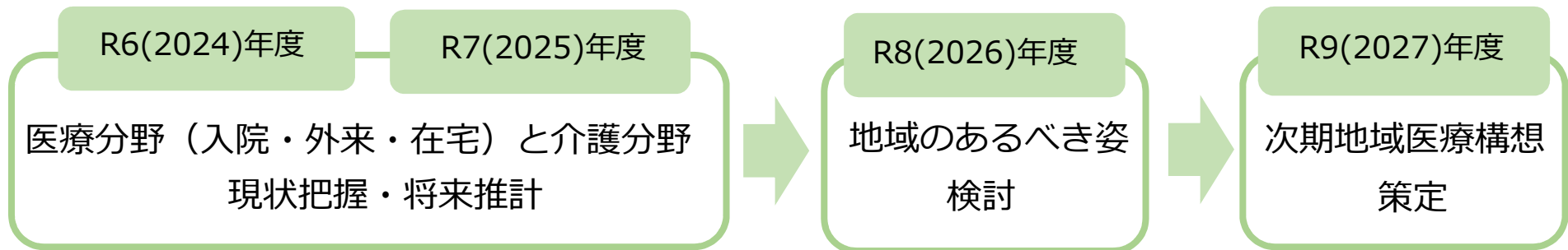
- レセプト関連データ（協会けんぽ、国民健康保険、後期高齢者医療、DPC※）

※ D P Cデータについて、対象病院にデータ提供依頼を医務課から個別にお願いする
予定ですのでご協力いただければ幸いです

- ## ●救急搬送データ

- 三師統計、病床機能報告、患者調査、医療施設静態調査、人口動態調査、将来人口推計

▶ スケジュール（案）



※厚生労働省補助事業は、R6年度単年事業であるため、医療分野の分析を優先的に実施

※介護分野は、現状把握や必要なデータ取得をできる限り実施
R7年度に医療分野と併せて分析を実施できるようにする

※ R 6 年度の分析結果については、3月の本会議で報告予定

●D P C対象病院一覧（厚生労働省『令和3年度D P C導入の影響評価に係る調査「退院患者調査」の結果報告について』から抜粋）

| 医療圏 | 市町村 | 施設名 | R 3 | | | | |
|-----|------|----------------------|----------|-----------------------|--------------------|-----------|--------|
| | | | 告示 番号 | DPC算定病床 の入院基本 料 | DPC算定病 床数 ※1 | DPC患者数 ※2 | |
| | | | | | | 手術なし | 手術あり |
| 和歌山 | 和歌山市 | 和歌山県立医科大学附属病院 | 10061 | 特定機能7対1 | 760 | 7, 527 | 8, 722 |
| | | 日本赤十字社 和歌山医療センター | 20122 | 急性期一般1 | 703 | 8, 001 | 9, 238 |
| | | 和歌山労災病院 | 31096 | 急性期一般1 | 303 | 3, 097 | 3, 154 |
| | | 済生会和歌山病院 | 31095 | 急性期一般1 | 160 | 1, 240 | 1, 161 |
| | | 堀口記念病院 | 00772 | 急性期一般7 | 60 | 290 | 102 |
| | | 和歌山生協病院 | 90043 | 急性期一般2 | 62 | 537 | 126 |
| | | 中江病院 | 31093 | 急性期一般4 | 85 | 365 | 137 |
| | | 誠佑記念病院 | 31094 | 急性期一般1 | 70 | 466 | 430 |
| | | 向陽病院 | 02622 | 急性期一般6 | 102 | 323 | 118 |
| | | 須佐病院 | 90088 | 急性期一般6 | 53 | 86 | 207 |
| | | 橋本病院 | 01258 | 急性期一般5 | 60 | 408 | 350 |
| | | 古梅記念病院 | 00771 | 地域一般3 | 80 | 19 | 73 |
| | | 中谷病院 | 00014 | 急性期一般4 | 42 | 178 | 0 |
| | | 和歌浦中央病院 | 00366 | 急性期一般5 | 50 | 296 | 183 |
| | | 河西田村病院 | 02279 | 急性期一般6 | 32 | 155 | 29 |
| | | 嶋病院 | 01349 | 急性期一般5 | 19 | 32 | 23 |
| | | 角谷整形外科病院 | 02621 | 急性期一般1 | 70 | 59 | 1, 182 |
| | | 福外科病院 | 03067 | 急性期一般4 | 54 | 441 | 293 |
| | | 高山病院 | 01857 | 急性期一般6 | 50 | 370 | 52 |
| | | 零の浦リハビリテーションセンター附属病院 | 02619 | 地域一般3 | 48 | 77 | 177 |
| | | 稲田病院 | 00091 | 急性期一般7 | 8 | 0 | 127 |
| | 海南市 | 海南医療センター | 31105 | 急性期一般1 | 150 | 1, 557 | 997 |
| | | 恵友病院 | 00773 | 急性期一般6 | 42 | 449 | 18 |
| | | 石本病院 | 03068 | 地域一般1 | 26 | 175 | 23 |
| | 紀美野町 | 国保野上厚生総合病院 | 01259 | 急性期一般4 | 43 | 101 | 196 |

※1 参考：施設概要表 A100一般病棟入院基本料（特別入院基本料を除く）、A104特定機能病院入院基本料 一般病棟の場合、A105専門病院入院基本料、A300救命救急入院料、A301 特定集中治療室管理料、A301-2 ハイケアユニット入院医療管理料、A301-3 脳卒中ケアユニット入院医療管理料、A301-4 小児特定集中治療室管理料、A302 新生児特定集中治療室管理料、A303 総合周産期特定集中治療室管理料、A303-2 新生児治療回復室入院医療管理料、A305 一類感染症患者入院医療管理料、A307 小児入院医療管理料（1から4）の合計

※2 参考：MDC別医療機関別件数

●D P Cデータ取得方法

① 黄色セル（セルの着色あり）の病院について

昨年度（R 5年度）に健康推進課がD P Cデータを取得済（事業名：「和歌山県内循環器疾患患者の実態把握事業」の対象病院）→本分析事業に係るデータの使用について同意書を取得
※昨年度取得していない期間（2023年6月分以降）について、追加でデータの提出を依頼させていただく予定です。

② 無色セル（セルの着色なし）の病院について

新規でD P Cデータ取得を実施
→本分析事業に係るデータの提供と使用について同意書を取得
→京都大学にD P Cデータを提出（健康推進課事業で使用したデータも京都大学に直接提出していただきました）

※ 対象病院のD P C担当者様に県庁医務課より連絡をさせていただきますので、担当者様に情報共有をお願いいたします。
あらためて、詳細の説明と協力のご依頼をさせていただきます。